

問1 人間は、誕生、成人、結婚、死といった生涯の節目において、それまでの社会的な立場を離れ、新たな役割や地位を獲得するための儀式を行う。日本におけるお宮参りや七五三、成人式、葬式などがこれに該当し、これらは個人の成長や立場の変化を共同体が承認する意味合いを持つ。一方、八十八夜や田植えなど、季節の循環や農作業の節目に合わせて毎年繰り返される年中行事とは区別される。このような、個人の生涯の節目に行われる儀礼を何というか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 年中行事 2. 冠婚葬祭 3. 葬送儀礼 4. 通過儀礼

問2 自分が特定の相手に対して嫌悪感を抱いているにもかかわらず、「相手が自分を嫌っている」と思い込むように、自らの心の中にある受け入れがたい感情を、他者が持っているものとして認知する防衛機制を何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 昇華 2. 抑圧 3. 投影 4. 退行

問3 現代社会における家族機能の外部化の具体例として、高齢者の介護を家庭内だけで抱え込まず、社会全体で支え合うことを目指して2000年から施行された、日本の社会保険制度は何か。（2022年 全国公立入試 類似）

1. 生活保護制度 2. 国民年金制度 3. 雇用保険制度 4. 介護保険制度

問4 精神的に健康で成熟した人間が備えるべき基準として、「自己の拡大」や「客観的な自己理解（ユーモアの感覚）」、そして統一的な「人生哲学の獲得」など、いくつかの条件を提示したアメリカの心理学者は誰か。（2018年 全国公立入試 類似）

1. キャッテル 2. エリクソン 3. ロジャーズ 4. オルポート

問5 現代社会における人々のコミュニケーションや行動様式を分析すると、世代間によって他者への配慮の示し方に違いが見られる。例えば、若年層は同調や摩擦回避を意識した対人配慮を重視する傾向がある。このように、伝統的な慣習や自己の内面的良心よりも、周囲の他者の期待や反応を敏感に察知し、それに自らを合わせていこうとする、現代の大衆社会に特有の社会的性格を何というか。（2013年 全国公立入試 類似）

1. 内部指向型 2. 市場指向型 3. 伝統指向型 4. 他人指向型

問6 英語の「良心」の語源である「共に知る」という言葉は、他者と知を共有するだけでなく、自分自身を見つめるもう一人の自分との対話を意味することもある。このような自己との対話を通じて、自らの魂をより良く整える「魂の配慮」を説き、不正を犯しそうになった際に内なる声（ダイモニオン）による警告を受けたとされる、古代ギリシャの哲学者は誰か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. ゴルギアス 2. ソクラテス 3. ピタゴラス 4. エピクロス

問7 インターネットなどの情報通信技術が急速に普及する中で、それらを利用できる環境や能力、機会の違いによって、個人の所得や社会的地位、あるいは地域間に生じる格差を何というか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. インフォ・デミック 2. テクノ・ストレス 3. デジタル・デバイド 4. フィルター・バブル

問8 インターネットや携帯電話などの普及に伴い、溢れる情報の中から必要なものを主体的に選択し、その信憑性を評価して適切に活用する能力が現代社会において強く求められている。このような、メディアから得られる情報を主体的に読み解き、発信する能力を何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. デジタル・ディバイド 2. メディア・リテラシー 3. ネット・リテラシー 4. デジタル・シチズンシップ

問9 現代社会の複雑化や高度化に伴い、社会的な自立に必要な知識や技術の習得期間が長期化している。これに関連して、社会的な責任や義務を一時的に猶予され、大人としての自己を確立するための準備期間を、心理学者のエリクソンは何と呼んだか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. アイデンティティの確立 2. アイデンティティの拡散 3. 心理社会的モラトリアム 4. アイデンティティの危機